

**CASBEE-建築(新築)2014年版**  
**(仮称)福重4丁目計画**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.5</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>4.2</b>
<b>1 音環境</b>		<b>4.0</b>	0.15	<b>3.5</b>	1.00			<b>3.5</b>
1.1 騒音	目標値	3.0	0.50	3.0	0.50			
1.2 遮音		<b>5.0</b>	0.50	<b>4.0</b>	0.50			
1 開口部遮音性能	T-2サッシを採用	5.0	1.00	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能	Dr-45	3.0	-	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	置床材遮音等級LL-45を採用	3.0	-	4.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	置床材遮音等級LH-50を採用	3.0	-	4.0	0.20			
1.3 吸音		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.6</b>	0.35	<b>5.0</b>	1.00			<b>4.7</b>
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50	<b>5.0</b>	1.00			
1 室温		3.0	0.63	-	-			
2 外皮性能	「5-1断熱等性能等級」における等級4を満たす	3.0	0.38	5.0	1.00			
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-			
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20	-	-			
2.3 空調方式		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.7</b>	1.00			<b>3.6</b>
3.1 昼光利用		<b>4.2</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.35			
1 昼光率	共用部:13.3%、住居部:19.6%	5.0	0.60	5.0	0.50			
2 方位別開口	南面に窓がある	-	-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備	昼光利用設備なし	3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		<b>2.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.35			
1 昼光制御	住居部:庇及びカーテンにより制御	2.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度	共用部:200lx	<b>3.0</b>	0.15	-	-			
3.4 照明制御	制御盤及び照明器具で調整	<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.29			
<b>4 空気環境</b>		<b>4.2</b>	0.25	<b>4.5</b>	1.00			<b>4.4</b>
4.1 発生源対策		<b>5.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.63			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆以上の建材を全面的に採用	5.0	1.00	5.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.6</b>	0.38			
1 換気量	基準法の1.2倍の換気量	3.0	0.50	4.0	0.33			
2 自然換気性能	住居部:床面積の1/8以上の開閉可能な窓を確保	3.0	-	4.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮	空気取り入れ口は汚染源のない方向に設けられている	3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	-	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-			<b>3.5</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.7</b>	0.40	<b>4.2</b>	1.00			<b>4.1</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>4.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60			
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応	住居の各居室にGbit対応配管済	3.0	-	5.0	1.00			
3 バリアフリー計画	バリアフリー新法を満たしている	4.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.40			
1 広さ感・景観	住居部:天井高=2.45m	3.0	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
3 内装計画	評価する取り組みが2項目	3.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理		<b>4.0</b>	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	評価する取り組みが6項目	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保	評価する取り組みが8項目	4.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-			<b>3.0</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	0.50	-	-			
1 耐震性	建築基準法に定められた耐震性を有する	3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能	免振・制振装置を導入していない	3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.3</b>	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	品確法の劣化対策等級2	4.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	ほぼ全てに亜鉛鉄板を採用	3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給排水に硬質塩化ビニール管を採用	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔	更新必要間隔15年	3.0	0.20	-	-			

<b>2.4 信頼性</b>			<b>2.6</b>	0.20			
1	空調・換気設備	中央式空調換気設備をもたない	3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3	電気設備	評価する取り組みが1項目	3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法	耐震クラスB	3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	
<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.6</b>	0.30	<b>3.1</b>	1.00	<b>3.1</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>					<b>3.2</b>	0.50	
1	階高のゆとり	階高=2.91m	3.0	-	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	-	2.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>		居室の積載荷重=1,800N/㎡	3.0	-	3.0	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.6</b>	1.00			
1	空調配管の更新性	構造部材を痛めることなく更新できる	3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	構造部材を痛めることなく更新できる	4.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	構造部材だけでなく仕上材を痛めることなく更新できる	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	仕上材を痛めることなく更新できる	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	更新ルートはあるが更新時に維持不能	3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	バックアップスペースが確保されていない	3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30	-	-	<b>2.5</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			2.0	0.30	-	-	2.0
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		評価する取り組みが3ポイント	3.0	0.40	-	-	3.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			2.5	0.30	-	-	2.5
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>			2.0	0.50	-	-	
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>		評価する取り組みが6ポイント	3.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.7</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	<b>4.4</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		「5-1断熱等性能等級」における等級4	5.0	0.20	-	-	5.0
<b>2 自然エネルギー利用</b>		住居部の全てが外皮2面に面している	3.0	0.10	-	-	3.0
<b>3 設備システムの高効率化</b>		BEI 非住宅 - 住宅(専有部) 0.85	5.0	0.50	-	-	5.0
		集合住宅以外の評価(3a.3b)	1.0	-	-	-	
		集合住宅の評価(3c)	5.0	1.00	-	-	
<b>4 効率的運用</b>			3.0	0.20	-	-	3.0
		集合住宅以外の評価	-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
		集合住宅の評価	3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		取り組みなし	3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		設備ごとの取扱説明書が居住者に手渡されている	3.0	0.50	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	<b>2.9</b>
<b>1 水資源保護</b>			3.4	0.20	-	-	3.4
<b>1.1 節水</b>		節水コマ及び節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		雨水の利用なし	3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		雑排水利用の仕組みなし	3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			2.7	0.60	-	-	2.7
<b>2.1 材料使用量の削減</b>			2.0	0.10	-	-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>		既存の建築躯体を再利用していない	3.0	0.20	-	-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>		-	3.0	0.20	-	-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>		-	1.0	0.20	-	-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>		使用比率10%未満	3.0	0.10	-	-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>		評価する取り組みが1ポイント	4.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			3.3	0.20	-	-	3.3
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>		有害物質を含まない材料を2つ採用	4.0	0.30	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		ODP=0.01未満を用いた断熱材を採用	3.0	0.50	-	-	
3 冷媒		ODP=0の冷媒を採用	3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	<b>3.6</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		換算スコア=4.4	4.4	0.33	-	-	4.4
<b>2 地域環境への配慮</b>			3.1	0.33	-	-	3.1
<b>2.1 大気汚染防止</b>		排出基準値以下	3.0	0.25	-	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>		評価する取り組みが4ポイント	3.0	0.50	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			3.6	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		基準を満たしている	3.0	0.33	-	-	
3 交通負荷抑制		評価する取り組みが4ポイント	5.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		評価する取り組みが3ポイント	3.0	0.33	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			3.2	0.33	-	-	3.2
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			3.0	0.40	-	-	
1 騒音		規制対象建築物以外	3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制		自主的な対策を評価しない	3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制		日影規制を満たしている	3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		評価する取り組みが4ポイント	5.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		グレアについて影響なし	3.0	0.30	-	-	